

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 11 月定例会

2 開 催 日 時

令和元年 11 月 13 日（水）8 時 30 分開会 9 時 16 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

青木教育総務課長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、竹下生涯学習課参事、井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

1 人

8 経 過 報 告

10 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

10 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 24 号 議会の議決を経るべき議案の原案について

【承認】

（令和元年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算）

11 協議報告事項

（1）他中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 12 月定例会

令和元年 12 月 11 日（水）8 時 30 分から

○天野教育長

それでは皆さんおはようございます。朝夕はめっきり冷えてきましてですね、紅葉の便りも届いてきた、随分秋も深まってきたなというふうに思っております。

先月はさまざまな文化的行事や県民スポーツ大会、それから後で報告もありますけど村田の浮立であったり藤木の獅子舞、それから四阿屋神社の御田舞であるとか、各地域で特に文化的な行事を行っておられました。そういった中で小学生とか中学生が本当によく頑張ってくれて、4年生の教科「日本語」の中に地域の祭りや行事を調べようという単元がありまして、そういったことを通して地域の方々の思いとか願いとか、そういうことを学んでいくんじゃないかなというふうに思っています。各校長先生方に来ていただいております、学校便りであるとかいろんな場面でしっかり称賛していただいたということで、非常によかったなというふうに思っています。

学校の方も登校するのはいよいよ30日余りということになりまして、一番いい季節になって2学期のまとめの時期ということになりました。先日教頭研修会の折にはいよいよ最後の一番重要な時期であるということで、しっかりギアを上げてほしいという話もしておりました。そんな中、お手元に薄青い封筒の中に小中一貫の研究既往という見出しの冊子が入っております。鳥栖中学校で昨年から取り組んできました小中一貫の研究になるんですけども、実施するということになっていきますし、研究発表会等も今非常に多くて学校の先生方も参加していただいているということでもありますけど、時間があれば見ていただいたらというふうに思っています。

来週18、19日は我々の視察研修も入っております、それから21日は旭小のB訪問、22日は基里小中学校のA訪問になりますけれども、よろしくお願ひしたいというふうに思っています。実は明日は昨年行きました始良市の方から、視察研修に7名ほどお見えになるということで、そういった交流なんかも含めていいのではないかなというふうに思っています。

本日は白水次長は議員さんたちの視察研修に同行しております、それから中島課長の方は県地連と言って来年の異動のことについての重要な会議があつてまして、それは私が行かなくてはいけないんですけども行けないのでということをお願いしておりますので、2人おりませんでそういった中での教育委員会になりますけどよろしくお願ひしたいというふうに思っています。

それではただいまより、教育委員会の11月定例会を行います。最初に経過報告をお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。非常に行事も盛りだくさんで今一番佳境に入っている部分じゃないかなというふうに思いますけれども、何か委員の皆様からこれについてちょっと質問したいとかありましたらお願いいたします。いいでしょうか。はい、それでは次にいきます。

2議事録承認ということで別冊でいつものように議事録をまとめていただいておりますので、何かありましたらまた執行部の方にお願ひしたいというふうに思っています。それでは、議案に入ります。

議案第24号議会の議決を経るべき議案の原案についてお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。きょうのメインは議案第 24 号になりますけれども、それでは御意見・御質問ありましたらよろしくお願いいたします。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

一つ目の防犯カメラについて御質問させてください。これは市内で 10 基ということで、教育委員会だけの問題ではないと思うんですけども、これはこの先増えていくことも考えて運用上の規程みたいなものっていうのは、どちらでどのようなものが存在するのか教えていただけませんかでしょうか。

○天野教育長

はい。古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

防犯カメラについてお答えをいたします。こちらは佐賀県の補助事業を活用した取り組みになっております。先ほど説明がありましたように鳥栖市としては 10 基の枠で、その中で子供たちの安心安全な通学路の確保の観点から 8 基を学校教育課の方に割り当てていただいているということで非常にありがたいものでございます。今現在の設置の基準につきましては、各学校から半径 500 メートル以内を考えております。その中で、児童生徒の通学が多いところから順次設置していくんですが、この県の補助事業が令和 4 年度まで続く予定です。この令和 4 年度まで計画的に 1 小学校区 1 台ずつ毎年付けていく、最大 4 基という計画を立てております。ただ、学校区によっては 4 基まで必要ないというふうなところがもしあれば、それは 4 基を限度と考えておりますので 3 基でもオッケーというところを考えている次第です。学校教育課が設置しますので、今設置基準を学校教育課の方で整理をしているところでございます。また、設置基準が先ほど言いました半径 500 メートル以内、それから地域の理解も必要ですので、地域それから対協の意見等も参考にしながら設置箇所は決めていく予定としております。以上です。

○天野教育長

はい、戸田委員。

○戸田教育委員

はい。これから規程を検討されるということですので、目的がどこなのかっていうのをきちんとした上で、目的外使用しないとか、これだけの期間あると消えるようにするとか、もう一つは設置場所についての配慮というか、特定地点においてどこまで映るのか、映り込んでしまわないようなものを検討しなきゃいけないとか多分難しい問題がいっぱいあると思うので、慎重に検討をお願いします。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい、ありがとうございます。先ほど出していただきました記録の期間、これも鳥栖市で設置する場合の基準というのはあるんですが学校教育課で設置するというので、今考えられる保存期間っていうところがその記録媒体の保存期間によるということ、だんだん保存期間も長くなってきて性能が良くなればなるほどそういったところも関係してきますので、また、その文言の表しについては検討を重ねていきたいと思っております。ありがとうございます。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。関連で、その規程の設定を早目にしないと、実際稼働する前には基となる規程なのか条例なのか、それは整備をしていただきたいと思います。また、戸田委員が今心配しておっしゃいました件については、20 数年ぐらい前に全国でいろんなところで防犯カメラということで話題になったと思ってます。特に当時は、人権のこととかいろんなことでネガティブな捉え方もあったかなと思いますけれども、今これだけ日本の治安も悪くなっているところで思わぬ事件があったときに、防犯カメラでその犯人が特定できたとかいうふうなことが多々ありますので、いくらかそこら辺のアレルギーは去ってきたかなというふうには思ってます。しかし、地域ではいろんな考えをお持ちの方がいらっしゃるの、一定の配慮と、特に各区長さんとかですね、学校の運営協議会の委員さんあたりはきちっと、学校教育課のことですから抜かりないと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、10 基ということで残り 2 基、駅周辺だろうと思ひますけど、どこかをお尋ねします。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい。残り 2 基につきましては、総務課が担当しております。教育総務課ではなく、市の総務課が担当しております。総務課の方で検討するんですけども、まず希望をするかしないか、それを下ろしてあるそうです。その希望により設置ということになりますので、今現在総務課の方で検討されていることと思ひます。すいませんが、学校教育課としましてはどちらに依つていうところまでは把握してありません。申しわけございません。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。はい、どうぞ。

○古澤教育委員

今度は別件で。款 10 教育費の中学校スポーツ大会等出場補助金、この金額の使途の内訳が分かればお願ひします。

○天野教育長

はい、立石係長。

○立石学校教育課長補佐兼学校教育係長

はい。中学校のスポーツ大会等の出場補助金につきましては、中体連等の大会で九州大会以上に行った際の選手の費用、宿泊費とか交通費に充てる分の補助になっております。

○天野教育長

古澤委員。

○古澤教育委員

多分そういうことだろうと思ひてお尋ねしたんですけど、子供たち一生懸命頑張っている割には額が少ないのかなというふうには思ひたところでした。結構です。

○天野教育長

はい、立石係長。

○立石学校教育課長補佐兼学校教育係長

すいません、今回の分についてはですね、九州大会・全国大会分ということで中

体連で進んだ部分でございまして、九州大会分で鳥栖中学校の空手関係、それから田代中学校のテニスと陸上、あと基里中学校の空手と鳥栖西中学校の空手と柔道になっております。また全国大会については、鳥栖中学校と田代中学校それぞれ体操部ですね、あと田代中学校の陸上部になっております。なお、田代中学校の体操部につきましては全国大会で優勝ということで、うちの方で懸垂幕等も用意させていただいたところですよ。

○天野教育長

はい。ということで予算化してましたけど、ありがたいことで子供たちよく頑張ってくれますからですね、特に田代中学校の女子の体操は全国1位ですからね。懸垂幕を初めて掲げましたけれども、うれしい悲鳴を上げたというところで、しっかりまた支援をしていきたいというふうに思ってます。他に。では私の方から、昇降機を入れるというようなことになってますので、この辺についての考え方をよかつたら説明をお願いします。はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

階段昇降機につきましては、昨年度鳥栖小学校の方に1台予備費を活用しまして入れさせていただきました。来年度につきましては、今現在鳥栖北小学校に車椅子のお子さんがいらっしゃいますが、来年度教室が2階に上がることから階段昇降機を準備させていただくことにしております。今後についてです。階段昇降機につきましては、基本的に2階以上に上がるというところにつきましては、今現在鳥栖市の方で基準なり何なりというのは検討しているところではございますが、どうしても地域の学校に通わせたいという保護者の願いが年々強まってきております。市としましては、そういったお子さんにつきましては弥生が丘小学校、こちらがバリアフリー及びエレベーターが設置してあり、それから中学校につきましてはその校区であります田代中学校の方を勧めております。しかし、保護者の願いが強い場合につきましては地元の学校、鳥栖市内には2基の階段昇降機があることとなりますので、中学校に進学するに当たってまた中学校で必要であればそちらの方に回すんですけども、それ以上に今後そういったお子さんが出てくる場合につきましては、基本的に階段昇降機を設置するという方向で今現在検討をしている状況でございます。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。非常に高価なもので御存じのように1台330万円ぐらいするということで、これを全ての小中学校に設置するとなるとかなりの金額がかかるということです。垂直移動の場合は究極はエレベーターが必要ということで、今説明しましたように弥生が丘小と田代中にはついてるので基本的にはそちらに行ってほしいということではあるんですけども、今こういった流れの中で、どうしても地元の学校にやりたいというふうになると、合理的な配慮という見地からまた条例も出ておりましたけど、他の小学校にしてもつけざるを得ないという状況になってまいりますので、そういったことで教育委員会としては見解を示したいというふうに思ってます。他にいいでしょうか。はい。それでは議案第24号について御承認いただくということでいいでしょうか。ありがとうございます。

次に協議報告事項に移ります。それでは、他中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入についてお願いします。はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい。今後の方向・導入をまとめていただきましたけども、こういった形で進めていきたいということで、今回の11月の定例教育委員会に報告したという流れになります。コミュニティについては教育委員さん方もしっかり考えていただいて、先進地視察等も含めて行ってきましたけれども、いろいろ御質問・御意見等ありましたら、お願いします。古澤委員。

○古澤教育委員

はい。分かりやすい説明ありがとうございました。これについては今きちっと御説明いただきまして、どちらかというところと成果についていいことが多かったかなと思ってますけど、気になるのは課題です。説明の中では、予算とか、もっと周知の仕方もあるのかなと思うんですけど、人的な確保、そういった話もありました。一番大きい課題というのはどういったことだというふうにお考えでしょうか。

それと、心配しておりました教職員の先生方、少なからず国からも言われてる働き方改革、それに沿うような形で育苗の分でも土日出て来ないですんだとか、いくら負担感が軽減されて、放課後学習にも地域の方が協力されてということで、目に見える形と見えない形で軽減されてるんだらうと思うんですけど、そこら辺の意識がどういうふうに変ってるかを分かれば教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい。まず、大きな課題としましては、各学校から伺うことの大きさは二つです。一番目に示しているのと最後に示しているもの、やはり人員の確保っていうのは非常に大きいことというふうに私たちは捉えております。そのためにも、今現在生涯学習課と連携を図りながら、また、市民協働推進課の方も一緒に連携を図って、地域学校共同活動本部というところを今現在整理しているところです。こちらは文科省が示しておりますのと同じものではございますが、いかに人員というのを確保していくかというところです。こちらにつきましては、今月大分の方から講師をお招きして、その在り方等について教育委員会の中で、それからその関係する市民協働推進課の方と一緒にお話を伺って、今後の鳥栖市の方向性を検討していきたいというふうに考えているところでございます。

それから予算の確保、これはやはり学校の方からずっとあがってくるものです。どうしても来ていただいたからにはっていうところで、保険の面であったり心配することが多々ございます。それを今現在整理を行って、どういったところでそういったところを保障できるのかというところがございます。また、先ほど放課後学習等を紹介したんですけども、放課後学習には県からの補助事業もございます。その方と一緒にその場で指導を行うということから、そこに差があまり生じないような形っていうところで、これは予算面が絡むものではございますが、そこでの対応っていうところも今現在学校側から申し出があっているところです。

それと、教職員の意識についてです。当初はもう正直な話ではございますが、これまで地域の行事に参加していなかったというところから新たに活動が加わったという意識がございました。そういったところに対する負担感というのはどうしても生まれるっていうところは、もう致し方ないところかなというふうに考えているところです。ただ、それを上回るだけの働き方改革の面をこちらとしては示していく必要があるのかなと。地域の方々が入ってくることにより、どれだけ皆さん方の働きが軽減されているのか、こういったところについても意識っていうところでは改

善を求めるといふ言い方はおかしいかと思いますが、周知を図っていく必要があるのかなというところです。また、教職員の意識調査につきましては順序を追って調査をかけていく必要があるかなというふうに考えているところですので、年度末あたりにもう一度ですね、どのくらい改善されているかっていうところにつきましては見ていく必要があるかというふうに考えているところですので。以上です。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。はい。

○古澤教育委員

はい。全体として基里は円滑な運営ができてるといふふうに私も感じております。ありがとうございます。相当の御苦勞があったらと思っております。鳥栖中学校区では説明でもありましたように、街中の学校で複数小学校があるということで、やり方も他市の下関とかいろんなところも視察してノウハウをお持ちだと思いますけれども、しっかりと抜かりのないようにやっていただけたらと思っております。

それと1点、説明の中で今月に大分から講師をとるというふうなことでした。差支えなければどなたが講師か教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

昨年度まで大分大学の客員教授をされておりました中川先生、今現在NPO等でこういったコミュニティ・スクール等について御示唆していただいております、文部科学省の方でそういった学校運営協議会コミュニティ・スクールを設置するに当たり、アドバイスを依頼されている方でございます。以上です。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。はい、他に。副田委員いいですか。

○副田教育委員

地域と共同してというところで、例えば放課後の授業、数学や英語ですね、それを子供たちに教えていただく方もいらっしゃるということでしたが、例えば私の知り合いは薬剤師でして、薬物についてのお話を道徳の中でするとか、あるいは産科医の助産師さんが命の話をすると。そうしますと、道徳の授業の組み立てのときに、そういった地域の方に加わっていただくと一部の授業をしていただくということは可能でしょうか。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

まず、中学校区において薬物乱用の授業につきましては、年1回は必ず実施するようというところで行っております。禁煙の教育も小学校からずっと取り組んでいますので、そういった中に薬剤師さんが入っていただくとお話を聞くというふうに今現在実施しているところです。この薬剤師さんの話の中に地域の方が参加することができるかっていうところは、やはり学校側の授業の組み立てであつたりとか、講師としての薬剤師の方の都合であつたりというところがありますので、各学校にはこういった方も実施されているということで情報提供をしていく形になるかと思っております。それから、助産師等につきましても命の授業につきましては、基里中学校なんかは実際に子供を使ってとかいうふうなところも確か取り組んでいたかと思いますが、こちらはどのような形でまでは私もちよっと承知していない部分もございますので、また後ほど各学校に情報提供等で行っていきたく思います。すいませ

ん、ありがとうございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。吉原委員何かありましたら。いいですかね。来年に向けてっていうことで、今度は鳥栖中校区をやるということでこれだけ成果と課題もたくさん出ております。今委員さん方からもたくさんのご指導をいただきましたので、そういうのを踏まえてやっていくんですけども、今回アンケートをしてそうだろうとは思っていたんですけども、結果を見ると働き方改革にそれが効果的かっていうとそう思っていないというのが多かったですね。もう半分以下、40%ぐらいですかね。こちらはどちらかっていうと学校の応援団ですよっていう、そういうキャッチフレーズでおろしていったんですけども、意外と職員はそういう感じ方をしていないです。やっぱり文化祭等も来ていただいたりとか負担感も少しはあるのかなということではあるんですけども、しかしこれも始めてまだ2年ですので、3年、4年とずっとやっていく中で必ず働き方改革に向けてこのコミュニティ・スクールが役に立つ、有意義であるということも聞いておりますので、こちらもその辺はぶれずにしっかりやってつなげていきたいというふうに思っています。

私は一番の課題は御存じだと思いますけれども、やっぱりコーディネーターの方の存在なんですよ。もちろん学校運営協議会があるんですけども、学校運営協議会と実際に活動されているところをつなぐ部分であるとか、そういった部分がなかなか難しく、山口県では単独でもそういった制度もあったようですので、そういったことも含めてまた勉強していきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひしたいというふうに思っています。今後は鳥栖中校区で行うということで了解していただいたらというふうに思っております。

それでは次にいきます。今後の予定についてお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今後の予定ということで、来月の分まで報告をしていただきました。何か御質問等ありましたら。はい、副田委員。

○副田教育委員

はい。図書館の行事につきまして質問と要望です。昨年度、図書館で未就学児を対象といたしました「ぬいぐるみおとまり会」というものが催されまして、非常に好評でした。情操教育によいということで、今年度はまだ行われていないようなのですが、今後の予定としてそれがございますでしょうか。

○天野教育長

はい、中溝係長。

○中溝生涯学習課図書係長

「ぬいぐるみおとまり会」については、年明けて1月の下旬に予定をしております。

○副田教育委員

はい。気になっておりましたので、ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

○天野教育長

いいですかね。はい、他に。今後の予定いいでしょうか。というところで、今日はちょっと時間をですね、会計検査、一応山は越したというふうに思っておりますけれども、その影響もありまして早目ということでやりました。それではこれを

もちまして教育委員会 11 月定例会を終わります。皆さんどうもありがとうございました。